

# NUBIC知的財産情報開示

開示日： 2011年02月28日

各位

NUBIC知的財産情報の要約をお届けいたします。  
尚、NUBICベンチャークラブ特別会員、一般会員にはすでにお知らせしています。

	NUBIC管理番号: <input type="text" value="2010000018"/> 整理番号 <input type="text" value="11505"/> 担当者 <input type="text" value="松岡 義人"/>
表 題	ABCA1遺伝子発現を調節して血中HDL濃度を上昇させる薬物
技術分野	<input type="text" value="化学・薬品"/> <input type="text" value="食品・バイオ"/> <input type="text" value="医薬"/>
適用製品	新規なPIポリアミド、抗動脈硬化剤
目 的	血中HDLを増加させ、動脈硬化の発症、進展を抑制し、動脈硬化性疾患を予防するために、新たな遺伝子発現制御技術であるPIポリアミドを用いて、血中HDL濃度を調節しているABCA1遺伝子発現を増加させる薬剤の提供。
技術概要	HDLは善玉コレステロールとも呼ばれ、抗動脈硬化作用を示すことが知られている。血中HDL濃度が高い方が虚血性心疾患、脳血管疾患などの動脈硬化性疾患にかかりにくい。HDL濃度を直接増加させる薬剤は未だ確立されていない。ABCA1はHDLが動脈硬化巣においてコレステロールを引き抜く過程においてこれを律速する分子として知られている。我々は、ABCA1発現を増加させることで、血中HDL濃度を上昇させる薬剤を開発した。PIポリアミドは遺伝子配列特異的に2本鎖DNAに結合して、その配列に結合する転写因子と拮抗し、遺伝子発現を制御する技術であるが、これをABCA1プロモーター上で遺伝子発現抑制に働いていることが示されているAP-2に対してデザインし、AP-2による遺伝子発現抑制を解除することで、ABCA1発現を上昇させ、血中HDLを上昇させる薬剤である。

技術移転等をご希望の場合は、下記事項をご記入の上、本用紙にてお申込みください。

(FAX, e-mail, 郵送いずれでも可。)

各担当コーディネーターからご連絡を差し上げます。

面談希望日時	<input type="text"/>		
(ふりがな) 氏 名	<input type="text"/>		
会社名	<input type="text"/>		
所 属	<input type="text"/>	役職	<input type="text"/>
電話番号	<input type="text"/>	FAX番号	<input type="text"/>
E-mail	<input type="text"/>		
連絡事項	<input type="text"/>		



【申込み・問い合わせ先】

日本大学産官学連携知財センター(NUBIC)

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館

TEL:03-5275-8139 FAX:03-5275-8328 E-mail:nubic@nihon-u.ac.jp